

そうだったのか!!

**学校では教えてくれない
英語の本質を学んで
90日間のゲームをするだけで
おもしろいほど話せる様
になる英会話**



Powered by SMART English

英会話ができるようになるには？

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki

そうだったのか!

学校では教えてくれない**英語の本質**を学んで
90日間のゲームをするだけで
おもしろいほど話せる様になる英会話

ナレーション：みなさん、なぜ英会話ができないのか分かりますか？
なんと英会話ができないのは日本の英語教育のせいだった！

先生：みなさんが英語を話せないのは、みなさんのせいじゃないんです。
日本の英語教育システムそのものが良くないから、日本人が英語をしゃべれないってことなんですね。

文法でいろいろ難しい助動詞とか過去完了とか一切ムダです。英会話にとってはムダな勉強が大事だ！大事だ！って教わってきたので、頑張れば頑張るほど話せなくなっちゃうっていうんですね。



ナレーション：しかし、今からお教えする方法を活用すると・・・

ナレーション：このように簡単な練習でも効果抜群。今からお見せする動画ではあと少しで英語がペラペラになれるのに現在全く話せないというみなさんの疑問や悩みを全て解決。

すぐにでも英語を話せる英会話術をご紹介します。

その期間はわずか3ヶ月。この短時間で英語をペラペラにしてみせましょう。それが...

白石：『そうだったのか。学校では教えてくれない英語の本質を学んで90日間のゲームをするだけでおもしろいほど話せる様になる英会話。』

よろしくをお願いします。

はい、みなさん。今回ですねナビゲーター役を進行させていただきます白石剛士と、画期的な英会話術を教えて早十数年、今では数多くの教え子の方が海外に行って、もう自然な英会話を話せるようになったという英会話講師のエキスパート、**スマートイングリッシュ創設者**で**ゲーム監修者**でもある勝木龍先生をお招きしています。

どうぞよろしくをお願いします。



(アップル創業メンバーやFacebook役員など、著名外国人と共に3000人セミナーで登壇)

勝木先生：よろしくお願ひします。勝木龍です。

ナレーション：勝木龍。世界的金融企業、UBS証券株式会社で最高投資責任者を歴任するなどスーパービジネスマン。

1語でも英語を間違えば数億円の損失にもつながる現場で活躍してきた英会話の達人。

さらに学生時代、留学経験なしで英検1級とTOEFLほぼ満点。京都大学の大学院入試では英語1位という実績を残した、まさに英語の鬼。

そんな先生は英会話の極意にたどり着いたという。それは...

勝木さん：実際にペラペラになった後、感じたのは、え！？こんな沢山やらなくてもこれだけやってたらペラペラになってたのになあ。と。

(自分のやってきた)全体の**5%**の内容をやるだけでペラペラになるっていうことをみなさんにも感じてもらいたい。



白石：あみだしたわけですね。

勝木先生：実際に僕が学んできたやり方を先輩に教えてあげたんですね。会社の。

その先輩はニューヨーク赴任するって言って、英語全然しゃべれない。

1段階から10段階のうちで2段階の英語力しかなかったんですよ。僕の言った通りにやってくれたんですね。まじで。

本当に言葉を信じてやってくれたら、2ヶ月でニューヨークに行く前にもう1番上のクラスになっちゃった。という。

白石：え。2ヶ月で！？

勝木先生：2ヶ月で。

ナレーション：英会話指導に定評がある勝木先生は、英会話などに関する著書を20冊以上出版。その累計売上部数は20万部を誇り、NHKの英会話番組のWeb講師も担当するなど、まさに英会話のスペシャリスト。

さらに、勝木先生の英会話教室では中学生から90代のお年寄りまでをおよそ90日間でペラペラにしてきました。

では先生の英語力は一体どんなものなのか、街行く外国人と英語を話してもらいました。



勝木先生：Where did you go?

外国人：Just you know, I don't remember somewhere in Ginza street.

勝木先生：Somewhere in Ginza street.

外国人1：yes. and I had an amazing soup apparently Sumo wrestlers eat. Absolutely delicious.

勝木先生：How much longer are you going to stay here in Japan?

外国人1：I'm gonna stay three more days.

勝木先生：Three more days.

外国人1 : But I'll be definitely back soon. Today we're gonna visit the district. I'm looking forward got to see some beautiful temples.

勝木先生 : Temples.

外国人2 : This is my first time in Japan.

勝木先生 : your first time.

外国人2 : It's wonderful.

勝木先生 : What are some of the best places have you ever been?

外国人2 : Best places I've ever been?

勝木先生 : In japan.

外国人2 : This is my second day.

外国人3 : He's just got here last week.

外国人2 : Last night.

勝木先生 : last night.

勝木先生 : Foreigners are there at the university?

外国人4 : Actually it's a very small university. It's comprised most by foreigners. more like sixteen in my badge.

勝木先生 : sixteen. Only sixteen.

ナレーション : さすが英会話の鬼。そんな先生が今回なぜ日本人が英語を話せないのかを詳しく教えてください。



勝木先生：みなさんは英語をやる前から苦手意識を持ってないですかね。英語はもう出来ない！っていうふうに思っているかもしれないですけども、それはやっぱり学校の時にですね、英語のテストばかり受けて、で、点数が良くなかった。というのも1つの要因だと思いますし。

海外の映画なんか観てる時に、何言ってるのか全然分かんない。そういう時にやっぱり一番苦手な意識を持つんじゃないかな。と思うんですよね。

あとやっぱり外に行った時に外国人に道聞かれたりすると、あーってなっちゃう人が多いですね。

白石：なんとなく言ってることは分かるから自分で返すんだけど、ちょっとこう発音が上手く伝わらなくて「？」マークされると、自信がなくなっちゃいますよね。英語勉強してきたっていうね。

ナレーション：日本人は英語に対して様々な苦手意識を持ってる人が多いんです。

しかし、私たちには十分な英語力が実は備わっていると言います。

中学レベルの英語力で 英会話の準備は**7割**できている

▶ ▶ 🔊 7:56 / 33:03



勝木先生：例えば白石さんが、東南アジアのタイとかよく行きますよね。その時に相手の人がタイ語話してきて、何か言っていること分かります？全然分かんないですよ。せめて英語で話して欲しいっていう時ないですか？

白石：ありますね。

勝木先生：英語だったらなんとか分かるのに...

白石：なんとか分かるのに。っていうことありますよね。

ナレーション：多くの日本人が普段接することのないタイ語。実際にある言葉を聴いてみると...

なぜ日本人は英会話ができないのか？



— タイ語 —

白石：先生でも何言っているか分からないと。

勝木先生：分からないですね。

白石：これ今ちなみに先生。「朝食何を食べましたか？」って聞いてたんですけど、一言でも「breakfast」とかって入っていれば、あ、朝食だって分かりますよね。

勝木先生：分かりますね。単語は知ってたらね。分かりますよね。ちなみにですね、さっき言った「朝何を食べましたか？」っていうやつですよ。これ英語で言うとすごい簡単なんですよ。

What did you eat for breakfast ?

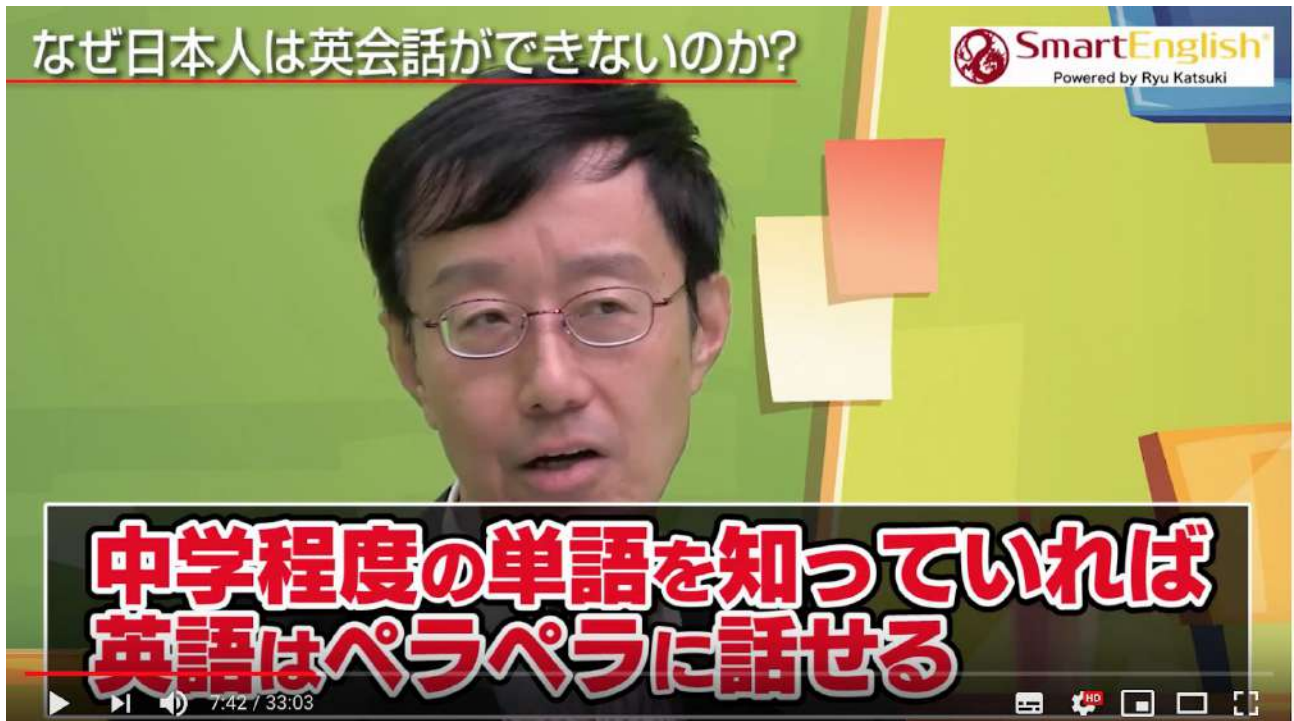
って言うんですけど、これをゆっくり聞けばみなさん単語知ってるんで絶対分かるんですね。

What did you eat for breakfast ?

これ分かんない人いないですよ。

白石：確かに。

勝木先生：本当に**中学程度の単語**をある程度知っていたら、英語はもうペラペラに話せるんですね。実は。



(実は日常会話は実は簡単な単語がほとんど。でも、知っている単語でも聞き取れていないから、知らない単語ばかりだと感じ、話せないと思っているだけ。)

白石：確かに。じゃあもう基礎準備というか、それが全部整っている状態なんで先程のようにゼロからタイ語を覚えるよりは全然楽なわけですね。

勝木先生：全然楽。**7割**ぐらいはもう英語は準備できてるということですね。

ナレーション：なんと中学校レベルの英語力で英会話ができる準備は7割。それなのに英会話ができないのはなぜなのでしょう。

勝木先生：それではですね、これからこの残りの3割、**重要な3割**についてお話しをしていきたいと思えます。



これさえ分かれば、本当に90日で話せるようになりますので楽しみに聴いていただければと思います。

なぜ日本人は英会話ができないのか？

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki



白石：先生が数十年かけて作ったものですよ。

勝木先生：そうです。そういうことです。

白石：それを今から教えていただけるとのことなので、非常に見逃せない内容となっております。

ナレーション：そもそも中学、高校、大学と10年以上も勉強してきた英語。なのに英会話が全くできない。その理由とは？

勝木先生：みなさんが英語を話せないのは、みなさんのせいじゃないんです。日本の英語教育システム、そのものが良くないから日本人が英語しゃべれないということなんですね。



白石：日本の英語教育のやり方が間違ってるってことなんですか？

勝木先生：そういうことです。

そもそも日本の英語教育っていうのは外国人の人とコミュニケーションするための目的を持ってやっている教育ではないんですね。

受験で点数をいかに上げていくかということを目的にして教えている訳です。

だからいくら頑張っても話せるようにならないわけです。

ナレーション：ではなぜ日本の英語教育は英会話を目的とした教え方をしないのでしょうか？

勝木先生：本当は英会話ってものすごい簡単な単語でできてるんですよ。でも、受験ではテストがありますよね。テストで差をつけないといけないので難しいことばかり教えて、無理に差を付けようとしてるわけです。そうすると英会話には全然重要じゃない事ばかりやらざる得なくなってくると。例えば、文法でいろいろ難しい助動詞とか過去完了とかいろいろやったり...

なぜ日本人は英会話ができないのか？

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki



白石：やりましたね。

勝木先生：マニアックな単語を無理に覚えさせられたり。こういうことばかりしているから日常会話が話せなくなるわけですね。

白石：なるほど。

勝木先生：白石は英語で最初に何を学びましたか？ A～Zまでのアルファベット26個とか、あと筆記体とかやりませんでしたか？

白石：やりましたね。本当にそこが一番最初だったんで、必死に書いて何回もやって覚えましたね。

勝木先生：筆記体っていうのは、要りますか？ 僕、筆記体って使ったことないんですけど。書いとく間に違うステップいけますよね。

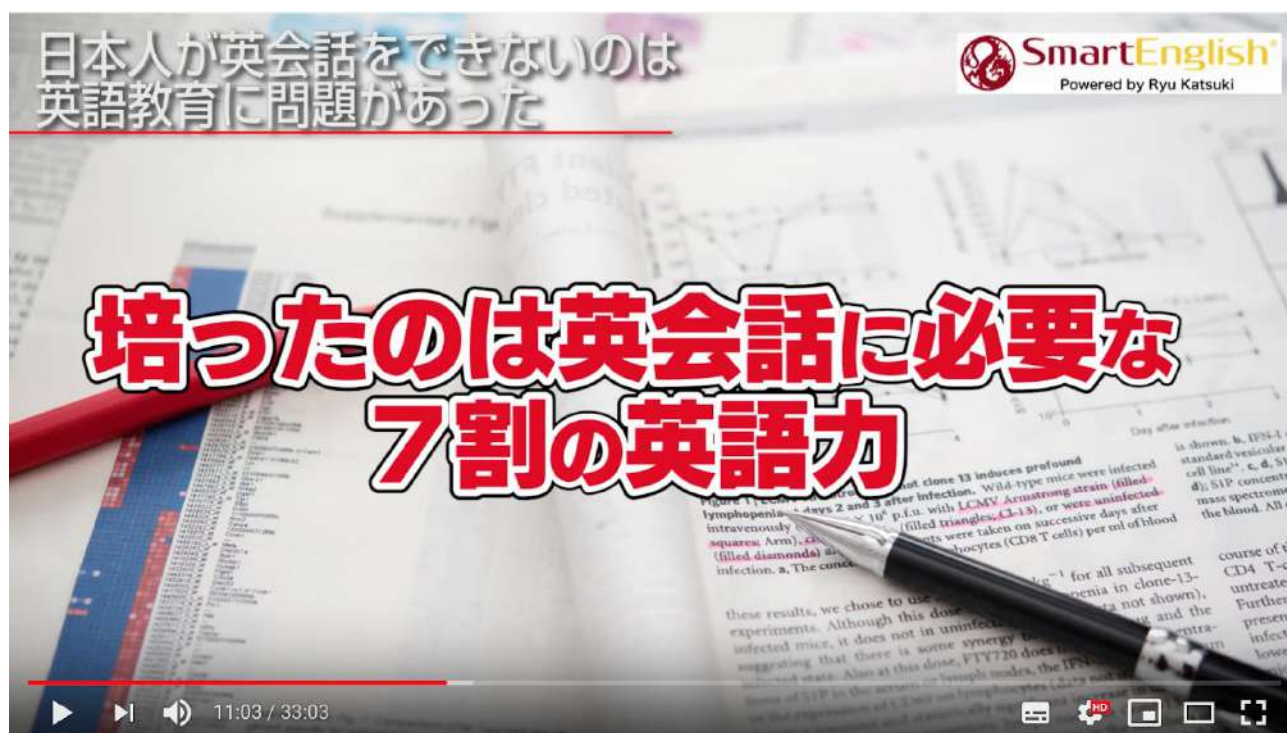
白石：確かに。今は大人になって英語使ってますけど、筆記体は全然使わないのでめちゃくちゃ時間ムダだったかもしれないですね。

勝木先生：あと普段全く言わないようなことをよく覚えさせられなかったですか？

例えば、「Hi, Mike」とか「This is the pen, This is the book.」そんなもん覚えてる暇あったらもっと重要な、昨日どこ行ってきたの？とか、何してたの？とか、そういうやつ覚えた方がずっと早いですよね。

こんな感じで英会話にとってはムダな勉強が、大事だ！大事だ！って教わってきたので、頑張れば頑張るほど話せなくなっちゃうってことですよね。

ナレーション：英会話に直接関係ない勉強ばかりしてきた私たち。それで培ったのが英会話に必要な7割の英語力。



なので...

勝木先生：だからこそ残りの3割に集中すれば、本当に見間違えるように話せるようになるってことです。**それがざっと90日**でできるということなんです。



ナレーション：さあ、ここからは本当に90日間で話せるようになる。勝木流英会話術を教えてください。

今回一緒にお話を聞くのは、何年やっても英会話が全くできないという釘町みやびさん26歳。

今後の目標はSNSなどで外国人とコミュニケーションをとることなんだとか。



※人気ライバー（ライブ配信）の釘町みやびさん

白石：今まで英語はどういう感じで学んでたんですか？

みやびさん：中学、高校の6年間ぐらいは授業でやった程度って感じです。

白石：なるほどなるほど。それはもう全然今の英会話の人生に生きてない？

みやびさん：そうですね。私、動画配信を毎日やってるんですけど、そこで海外の方こられて、ハローとかセンキューぐらいは言えるんですけど、その他の単語はもうこの辺に詰まって全然出てこないみたい。

白石：なるほど。

ナレーション：このような悩みを持つ人も多いはず。そんな方に今回どうすればいいのかを教えます。

勝木流英会話のポイントはこちらの6つ。

- 1.英語が話せないのは日本語の??に原因があった
- 2.英語の??をしているからこそ話せない
- 3.??の?を覚えれば英語が魔法のように聴こえてくる
- 4.???を勉強しても意味がない
- 5.???個の英語の文章を覚えれば完璧
- 6.脳科学の???を使うと9倍速で英語を記憶できる



白石：この6つを紹介するだけで、先生、英語が話せるようになるんですか？

勝木先生：はい。絶対なります。この6つだけをやっていただければ大丈夫です。

ナレーション：さっそく1つ目のポイント。英語が話せないのは何に原因があるんでしょうか？

勝木先生：実は英語って本当に世界一簡単な言語なんですよね。なぜかというとなルファベットって26個しかないじゃないですか。

90日で話せるようになる
勝木流英会話術を伝授

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki

英語は世界一簡単な言語

▶ 13:13 / 33:03

日本のように漢字とかカタカナとか全部覚える必要ない、
アルファベット26個で全部できるわけだからすごい簡単なわけです。

なのにみなさんは中学校の頃からずーと10年以上も英語勉強して、頑張っているのに、英語は話せない。で、その理由は、やっぱり一番大きなところは日本語と英語で表現方法に違いがあるからなんですね。

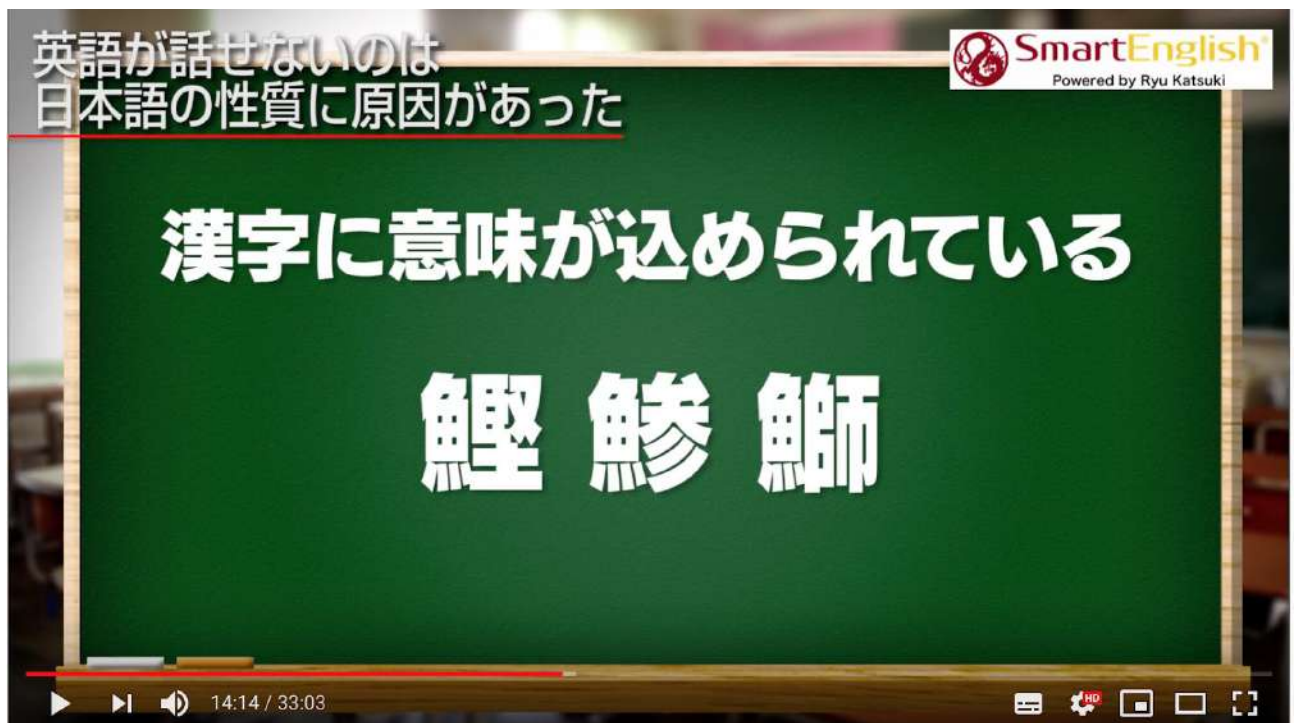
ナレーション：1つ目のポイント。英語が話せないのは日本語の性質に原因があった。

それは一体どういう意味なんですか？



勝木先生：日本語はまず漢字が中心となりますよね。その漢字っていうのは表意文字と呼ばれるんです。表意文字。漢字っていうのは2000程度がだいたい常用漢字として使われているんですけども、普通漢字って一目見れば意味がわかるようになってるわけです。

ナレーション：文字自体に意味が込められているのが漢字。例えばこちらの3文字の場合は？



みやびさん：鰹（かつお）！

勝木先生：当たり。

みやびさん：やったー！鰯（あじ）！

勝木先生：当たり。

みやびさん：やったー！あとでも、もう1個が…。しらす？

勝木先生：これ「ぶり」って読むんです。実は。

白石：ちなみに、みやびさん。なんでしらすだと思ったんですか？

みやびさん：魚偏だから、お魚に間違いないなとは思ったんですけど…

白石：なるほど。そうですね。

ナレーション：このように文字を知らなくても魚偏を見れば、魚だということが読み取れる。これが表意文字。

英語が話せないのは
日本語の性質に原因があった

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki

表意文字
→ 漢字を読めなくても意味がわかる

カツオ アジ ブリ
鰹 鰯 鰯

14:38 / 33:03

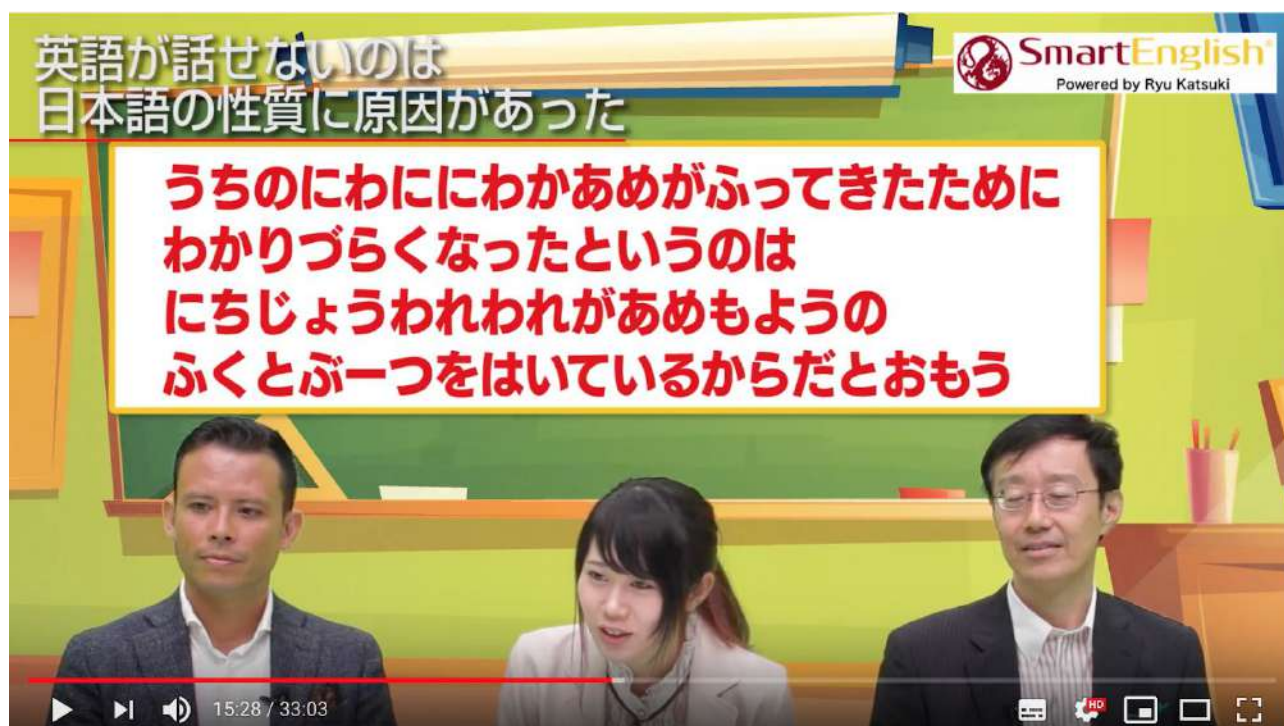
勝木先生：ひらがなとかカタカナは表音文字と言われているんですね。なぜかということを表さないから。「あー」とか、「おー」とか言っても意味わかりますか？

みやびさん：分かんないです。

勝木先生：分かんないですよ。だから意味を表さないから、表音文字というんですね。

ナレーション：一方、ひらがなやカタカナは文字を見ただけでは意味が分からない。それが表音文字。このように日本語の文章は表音文字と表意文字の組み合わせでできているんです。

例えば、表音文字のひらがなだけで文章を作ってみると...



みやびさん：分かりづら。

うちのにわににわかあめがふってきたために
わかりづらくなったというのは
にちじょうわれわれがあめもようの
ふくとぶ一つをはいているからだとおもう

勝木先生：こういう形で表音文字っていうのは読んでもなかなか分かんない。音しか表せないんで、意味を表せない。分かりにくいんですけども。

ナレーション：ひらがなだけで構成された文章は見ただけでは意味が意味が分かり難いんですが、漢字を入れた文章に変換すると...

英語が話せないのは
日本語の性質に原因があった

SmartEnglish®
Powered by Ryu Katsuki

うちの庭にわか雨が降ってきた為に
分かりづらくなったというのは
日常我々が雨模様の
服とブーツを履いているからだと思う



みやびさん：わー。一気に。きますねこれは。

勝木先生：一発で分かりますよね。これで。

みやびさん：分かりやすいですね。

白石：英語もこういう構造じゃないんですか？

勝木先生：英語は違うんですよ。**英語は全部、表音文字**なんですね。だから
見ただけでは意味が分からないですね。**音を聞かないと。**

白石：なるほど。表意文字じゃなくて、表音文字なんですね。

ナレーション：そう。英語は文字から意味を推測することができないんです。そこで最も重要なのが...



勝木先生：英語で一番大事なものがあるんですよ。それは何かというと、単語でも文法でもないわけです。何が大事かっていうと、**発音**なんです。



みやびさん：なるほど。

勝木先生：発音さえ分かれば全部わかる。発音が全てと言っても過言じゃないということです。

われわれ日本人が漢字の違いを大事にするように、英語圏の人たちっていうのは「音」の違いを大事にするんですね。この音の違いを大切にすることでいろんな表現を伝えることができるわけですね。
そしてもっと大事なことがあるんですね。**発音できないものは聞き取れない**ということです。



白石：じゃあ、先生よく巷にある聞き流しているだけで英語ができるようになるっていうものは本当に沢山あると思うんですけど、それはできないってことですか？

勝木先生：聞き流すだけでできるっていうのはありえないですね。まず。


みやびさん：そうなんですね。

勝木先生：ちゃんと発音で、自分で分かってる発音で、飛んできたら、それは聞いたら分かる訳ですけども、それが何か分かんないやつを目つぶってキャッチボールするみたいなもんですよね。

みやびさん：分かりやすい。

ナレーション：発音できない言葉は、当然聞き取れません。ではどのように勉強すればいいのか、ここで2つ目のポイント。

英語の??をしているからこそ話せない。一体どういうことなんでしょうか。



英会話で一番重要なのは発音

勝木龍英会話のポイント

- ①英語が話せないのは日本語の??に原因があった
- ②英語の??をしているからこそ話せない
- ③??の?を覚えれば英語が魔法のように聞こえてくる
- ④???を勉強しても意味がない
- ⑤???個の英語の文章を覚えれば完璧
- ⑥脳科学の???を使うと9倍速で英語を記憶できる

▶ ▶ 🔊 17:35 / 33:03

白石：日本語である漢字の勉強方法ってなんか、書き取りをみなさんよくやっていたと思うんですね、ドリルとかで。
ということは表意文字の勉強方である書き取りっていうのは英語では全くやらなくていいんですか？

勝木先生：そうですね。意味がないということですね。全く。

白石：意味がない。

勝木先生：一切のムダです。

白石：学校でめちゃくちゃやってたのにね。

みやびさん：そうですね。6年間書き取りばかりやってた気がするんですけど。

勝木先生：だから日本の学校の英語教育ってのは間違いだらけなんですよ。ね。

ナレーション：これが2つ目のポイント。英語の書き取りをしているから話せない。

勝木先生：この2つの英語、なんと言いますかね？ちょっと読んでみていただいてもいいですかね？

英会話で一番重要なのは発音

SmartEnglish
Powered by Ryu Katsuki

① Turn right
② Turn light

18:23 / 33:03

ナレーション：例えばこちらの例では、みなさんだったらこの2つの英語をどのように発音しますか？

白石：ターンライト、ターンライト？

ナレーション：今、みやびさんが話した発音は間違い。では正しくはどのように発音するのでしょうか？

勝木先生：そうですね。上の方はTurn right、舌を巻いて、ターンウアイト。こう上の方はTurn right、舌を巻いて。ターンウアイト。



下はなんていいますか？

みやびさん：ターンライト

勝木先生：そう、舌を上につけて、Turn light.

みやびさん：Turn light.

勝木先生：そうそう。そっちはいいです。右に曲がってくださいってのが上の意味ですね。

下は意味ないですね。光を曲げよう。みたいな感じですよ。

みやびさん：同じライトでも発音1つで意味が違って来るんですね。

勝木先生：意味が全く違うってことですね。この発音の違いで意味を伝えるのが英語なんですね。

白石、みやびさん：なるほど。なんかしっくりきますね。

勝木先生：次、これなんて読みますか？

ナレーション：続いて、みなさんだったらこの英語をどのように発音しますか？



みやびさん：ベリーナイス。

ナレーション：これも間違った発音。では正しくはどのように発音するのでしょうか。

勝木先生：今の発音はベリーナイスって言ってたんですよ。これはどういう意味かというイチゴ、ベリーってイチゴなんですよ。イチゴがいいねって感じになっちゃてるんです。

みやびさん：私今イチゴ、ゴリ押ししてたんですね。

勝木先生：今発音されてたのは、ベリーナイスって言ってたんで、Bの発音なんですね。Bの発音は「バッ」って爆発する音なんです。ベリー。ベリー。

Vの発音は蜂の鳴き声みたいな、ヴー——。Very nice.



みやびさん：分かりやすい。

ナレーション：こうした発音はきちんと教われれば簡単。ではなぜ日本人は英語の発音が苦手なのか。

勝木先生：これは学校教育に問題があるんですね。学校でちゃんと学校の先生が正しい発音を学んでないということなんです。学校の先生自体が英語で発音ができないじゃないですか。だからみなさんの発音も良くならないということですね。



白石：確かに。しかも学校のテストで発音のテストってないんで、やっぱりそれも輪をかけてみなさんやらなくなる理由かもしれないですね。

勝木先生：そうですね。

ナレーション：さらに原因は他にも。

勝木先生：例えば普通の正しい発音をしようとするすると周りで茶化されるんですよ。

あいつなんか英語みたいなのしゃべってるわー。

そうすると、やってると、やっぱりちゃんとした発音をしにくくなって、みんなジャパニーズイングリッシュをやってしまうから、みんな発音悪くなっちゃんですね。

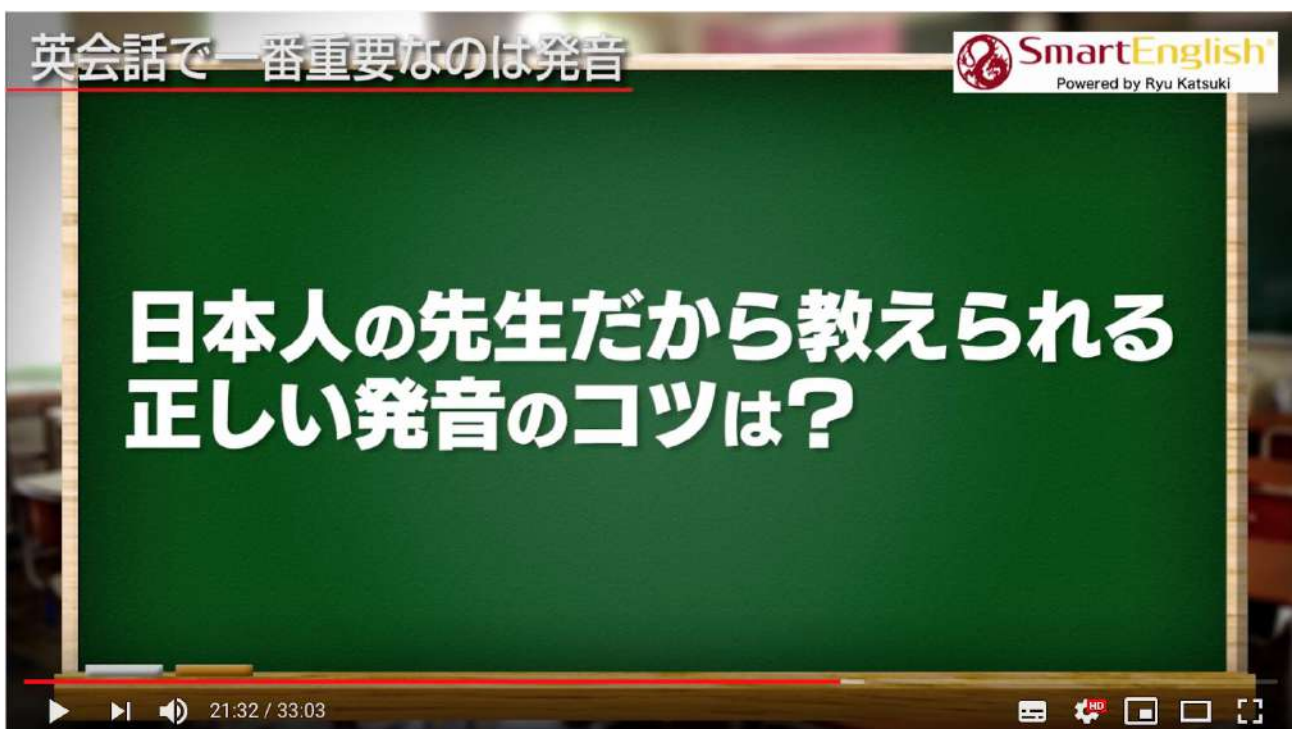
みやびさん：じゃあ外国人の方に教えてもらえばいいってことですかね？

勝木先生：そうでもないんですね、実は。これ外国人の人っていうのは日本人の発音ができない気持ちが分からないんですよ。分かんないからどこを訂正して良いかも分からないんです。



白石：そうか。

ナレーション：では日本人の先生だからこそ教えられる正しい発音のコツとは。



勝木先生：まず日本語の発音をちょっと見ていきたいと思います。日本語の発音は全て母音で終わるんですね。

ア、イ、ウ、エ、オ、で終わるんです。で、ちょっと喉のところに手を当ててみてもらっていいですか？

で、「アイウエオ」って言ってみてください。



白石、みやびさん：アイウエオ

勝木先生：喉が振動しますよね。これはなんでも全部そうなんです。ローマ字でちょっと日本語を書いてみました。全部ここ喉当ててもらって、もう1ぺん読んでもらっていいですか？



みやびさん：Ko Re Ka Ra To Mo Da Chi To A I Ma Su

勝木先生：全部何で終わってる？

みやびさん：母音。

勝木先生：母音で終わってるね。英語の場合はほとんどが母音で終わらない
んですよ。

英語の発音はほとんどが子音で終わるんですね。



みやびさん：（喉が）震えないってことですか？

勝木先生：震えないってことです。この子音っていうのは何かというと、ア
イウエオ以外のやつ全部子音って言うんですね。TとかRとかKとか。

ナレーション：日本語の多くの発音が母音で終わるのに対し、英語は子音で
終わる言葉がほとんど。

例えばこれらの単語、みなさんはどのように発音しますか？

勝木先生：みやびさん、これちょっと読んでもらっていいですか？



みやびさん：はい。キープ、ドック、ノック、キャット

ナレーション：これも間違った発音。一体どこがだめだったのでしょうか。

勝木先生：最後に母音がついちゃってるでしょう。今、読み方。キープ、ドッグ、ノック、キャット、これだめなんです。英語は母音で終わらないんですよね。ほとんどが。

みやびさん：（母音で）終わっちゃいました。

勝木先生：終わっちゃいました。これだめなんです。

ナレーション：ではこのような子音で終わる言葉はどうやって発音すればいいのでしょうか。

まずは「keep」。みなさんはどのように発音しますか？

子音で終わる言葉は どうやって発音する？

23:19 / 33:03



勝木先生：Pの発音っていうのは、梅の種をはくような感じでやってくださいね。「ペッ!」「ペッ!」

みやびさん：「ペッ!」

勝木先生：全然足りない。

みやびさん：足りない...

勝木先生：「ペッ!」

みやびさん：「ペッ!」

勝木先生：もっと。



みやびさん：「ペッ！」

勝木先生：ペエっ、ペエーってなっちゃだめなんだよ。「ペッ！」

みやびさん：「ペッ！」

勝木先生：そうそうそう。もっと強く。

みやびさん：「ペッ！」

勝木先生：そうそう。それでいいんですけど。

白石：先生、これ大袈裟にやった方がいいんですか？

勝木先生：大袈裟にやった方がいい。ここで大袈裟にやったら外に出て外国人と話す時はちょうどいい感じになります。



じゃあさっきの「keep」っていうやつね。どういうふうに発音するかって。「keep」

みやびさん：「keep」

勝木先生：そう！

白石：これあれじゃないですか、今絶対母音使ってなかったんで喉に手を当ててやってみるといいんじゃないですか？

勝木先生：喉に手を当ててみて。「keep」

みやびさん：「keep」あ！震えない！

勝木先生：震えないね。

みやびさん：本当ですね。

ナレーション：続いて、「dog」。みなさんはどのように発音しますか？



勝木先生：「dog」

みやびさん：「グ」

勝木先生：「グ！」

白石、みやびさん：「グ！」

勝木先生：もっと。

白石、みやびさん：「グ」

勝木先生：そう。

白石、みやびさん：「グ！」

勝木先生：「グウ」じゃなくて「g！」

みやびさん：「グ」

勝木先生：そう。発音しますね。「dog」

みやびさん：「dog」

勝木先生：そう。「dog」

みやびさん：「dog」

勝木先生：そうなんです。それでいいんです。

ナレーション：続いて、「knock」。みなさんはどのように発音しますか？

勝木先生：Kの発音はちょっと大袈裟にやりましょう。「クッ」「クッ」。
「クー」じゃなくて「クッ」。「knock」

みやびさん：「knock」

勝木先生：そうですそうです。

ナレーション：続いて、「cat」。みなさんはどのように発音しますか？

勝木先生：「cat」

みやびさん：「cat」

勝木先生：もっとTはt.t.t.t.t.

みやびさん：t.t.t.

勝木先生：もっと。t.t.t.t.t.

みやびさん：「cat」

勝木先生：そう。「cat」 キャットじゃなくて「cat」

ナレーション：このように子音の発音を習得していくことが、ペラペラに英語を話す近道。他の単語でも...

勝木先生：女性のこと英語でなんて言うか知ってますか？

みやびさん：ウーマン。

勝木先生：よくありますよね。ウーマン。ってね。



ナレーション：みなさんもこのように発音してますよね。これも間違った発音。

では正しくはどのように発音するのでしょうか。

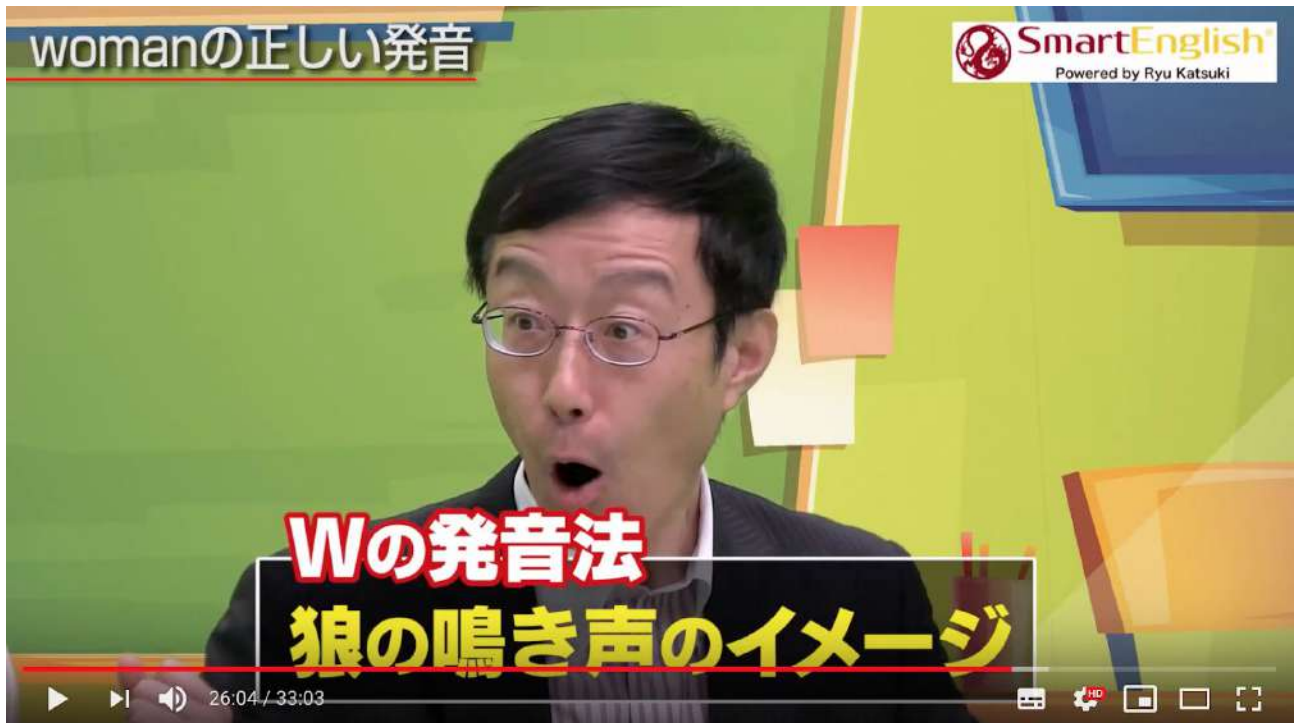
勝木先生：Wの発音は「W」ってやつ。

白石、みやびさん：「W」

勝木先生：狼みたいな形。で「W」。

白石、みやびさん：「W」

勝木先生：もっと口をこうして「W.....」。もっとうるまをこう「W.....」。狼みたいに脅すような感じ。



白石、みやびさん：「W.....」「woman」

勝木先生：そうそう。ウーマンじゃなくて「woman」

白石、みやびさん：「woman」

勝木先生：そう。

ナレーション：続いて「banana」。みなさんはどのように発音しますか？

みやびさん：バナナーナー。

勝木先生：Bの発音は「バッ！」

白石、みやびさん：「バッ！」

勝木先生：もっと、全然だめ。

白石：これどういうイメージでやればいいんですか？

勝木先生：爆発。なんか爆発音。



白石、みやびさん：「バッ！」

勝木先生：アーは言わなくて「バッ！」

みやびさん：「バッ！」

勝木先生：そうそうそう。いいねいいね。「banana」

みやびさん：「banana」

勝木先生：「banana」

みやびさん：「banana」

勝木先生：そう。いいね。

白石：綺麗になりましたね。

ナレーション：ちなみに先ほど登場したこの2つの英語の発音の違いをレッスン。

勝木先生：そのまま爆発する音だから「berry」

みやびさん：「berry」

勝木先生：そう。それでいいの。いろいろ考えなくて、「berry」

みやびさん：「berry」

勝木先生：そうです。じゃあVの発音。Vの発音は蜂がながーく飛んでる感じ。下唇を噛んで。「ヴー—————」

白石、みやびさん：「ヴー—————」

勝木先生：「Very」

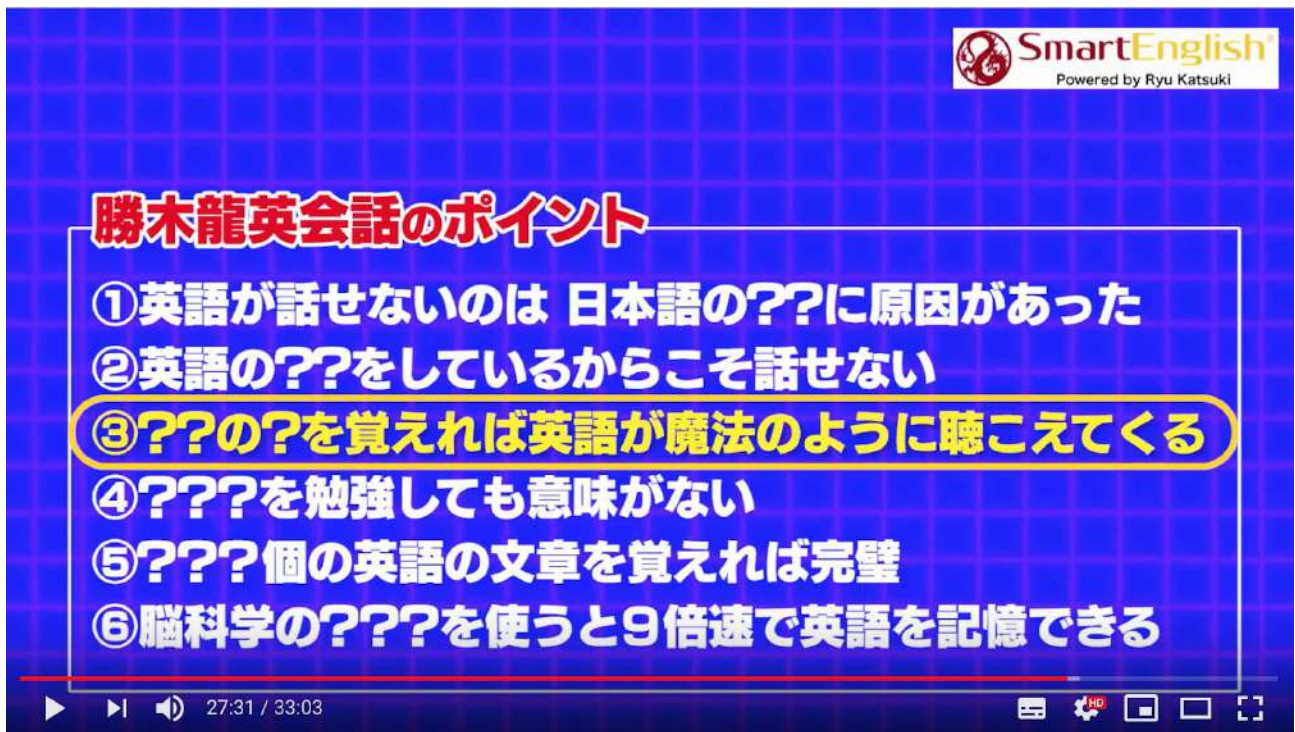
みやびさん：「Very」

勝木先生：そう。いいねー。

白石：綺麗になりましたね。

みやびさん：蜂飛んでいきました。

**ナレーション：実はこの音が3つ目のポイント。
これを覚えれば英語が魔法のように聞こえてくるんです。**



白石：じゃあ先生、この実際に重要な発音の基本となる数ってのは全部で何個くらいあるんですか？



勝木先生：何個あると思いますか？

みやびさん：えー。何個だろう。100個くらいですか？

勝木先生：もっと少ないですよ。

みやびさん：えー！？

勝木先生：32個。



みやびさん：えー！？やばっ！32個！？

白石：32個ですか。

勝木先生：そう。32個だけやればいいの。こうやって。そしたら発音はもう完璧になります。

ナレーション：そう。英語の最重要と言われる発音は、たったの32個。これさえできれば発音は完璧。とはいえ外国人の話す英語は早すぎて聞き取れないのでは？という疑問が。

外国人の話す英語は 早すぎて聞き取れない？

勝木先生：そもそもあれ、英語は速すぎる訳じゃないんですよ。実は。音が聞こえないのではなく、そんな音が存在することを知らないだけなんです。

白石：確かに。

みやびさん：なんか深いですね。

白石：深いですね。格言みたいですね。

みやびさん：ねー。本当ですよ。

勝木先生：英語のね、その発音っていうのは、子音が多いって今言いましたけども、子音っていうのは待ち構えてないと日本人って聞き取れないんですよ。

でも、私が教えている生徒さんたちはすごい速い英語でもちゃんと聞き取れるようになるんですね。なぜかというとならば彼らは自分の口から出ている発音が正しい発音でできてるからです。さっきやってみてもらったみたいに。

みやびさん：なるほど。

ナレーション：そう。正しい発音を知っていれば外国人の言葉でも聞き取ることができるんです。その勉強法は...

白石：発音記号とか結構みなさん勉強してると思うんですよ。

勝木先生：一切要らないです。発音記号なんかやってて、なんかいっぱいやって、ややこしくて難しいでしょ。

みやびさん：確かに。

勝木先生：だからイメージだけで全部やれば発音って全部できるんです。



白石：なるほど。じゃあ先生この32個の発音をマスターすれば、英語はバッチリなんですか？

勝木先生：ただこの32個の発音っていうのは個々の発音なので、それだけをやっても大丈夫っていうわけでもないんですね。なぜかというとその個々の発音が繋がった時に違う音になったりするので、そこをちゃんと理解しておけばもう完璧で。この繋がってるという、繋がりというのはリンキングっていうんですけど。

ナレーション：発音が連続する時に必要なのがリンキング。
例えばこちらの英語をみなさんはどのように発音しますか？

①going to ②want to
③how about a ~

みやびさん：ゴーイングトゥ、ウォントゥ、ハウアバウト

勝木先生：そうだよね。みんな普通そういうふうに読みますよね。これを速く読んだ時はどんなふうを読むか。

みやびさん：ゴーイングトゥ、ウォントゥ、ハウアバウチュー

ナレーション：こちらの発音も間違い。ではこのように連続している言葉はどのように発音するのでしょうか？

勝木先生：実際は、「going to」は「gonna.」「want to」は「wanna」「how about a」というのはなんて言うかというハウバラ。



勝木先生：ハウバラって言うんですよ。「how about a」で。これよく、ちょっとコーヒーでもいかがですか？っていうのは「how about a cup of coffee」って言うんですけど、ハウバラ coffeeって言ってみてください。

みやびさん：ハウバラ coffee？

白石：いいじゃないですか。

みやびさん：これでコーヒーに誘えるんですか？

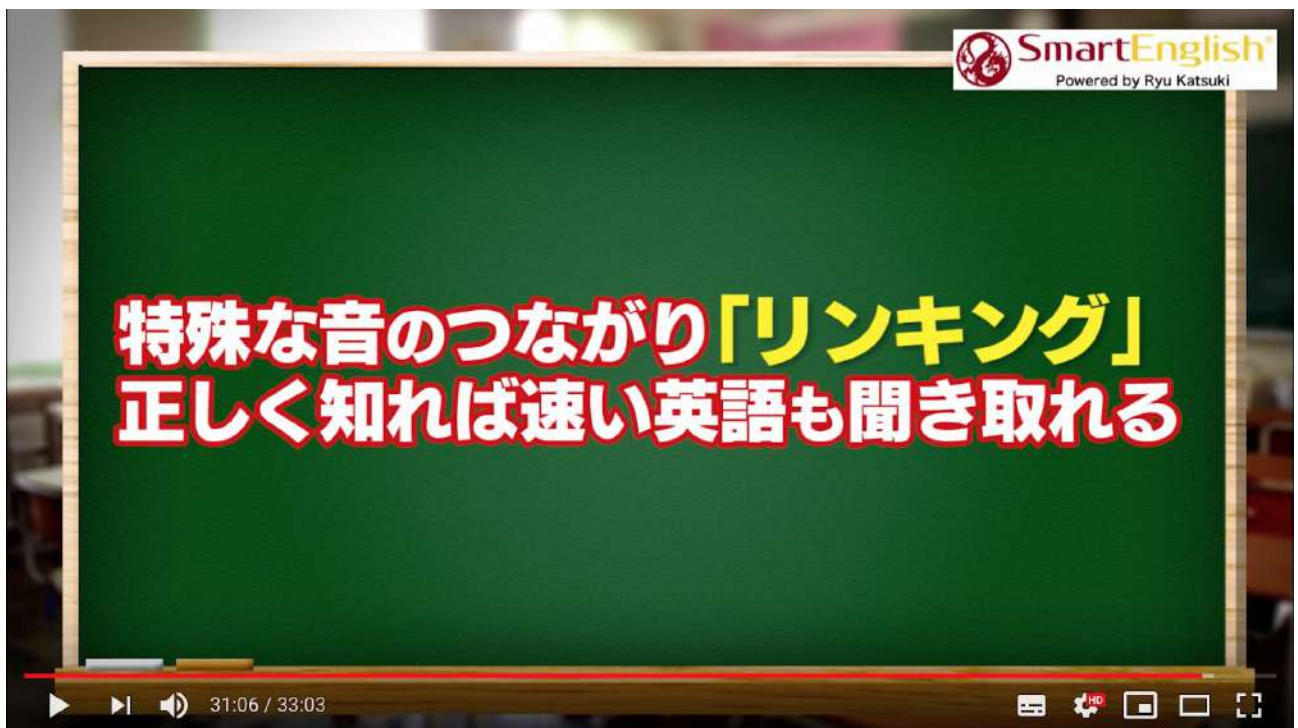
勝木先生：そうです。

白石：めちゃめちゃカッコよくないですか？全部繋がっているわけだからね。

みやびさん：めっちゃカッコいい。

ナレーション：他にも「I need you」は、アイニージュー。「Can I?」は、キャナイ？など、

リンキングを正しく知っているだけで速くて聞き取れない英語も聞き取れるようになるんです。



勝木先生：他にもこのリンキングっていういろいろ、今紹介した3つ以外にもあるんですけども、
全部でいくつぐらいあると思います？大事なやつは。よく出てくるやつは。

みやびさん：さっき32個だったから、同じくらい、40くらい。

勝木先生：いい線いきましたね。もっと少ないんですけど、26個です。



みやびさん：もっと少ないんですね。

勝木先生：つまり、発音の基本っていうのは1日10個を覚えて、それが3日か4日で終わるってことです。だいたい。リンキングも26個あるから、1日10個覚えれば3日で終わるでしょ。

白石：なるほど。

ナレーション：つまり32個の正しい発音と26個のリンキング。1日10個ずつ覚えれば、たった6日でマスターできるんです。

勝木先生：基本的な発音32個をマスターすることと、あとはリンキング26個をマスターする。**この2つをやれば発音が完璧になります。**ということは、いくら速くなっても聞き取れるようになります。



みやびさん：すごい！

白石：そしてめちゃめちゃ楽しくなってくるわけですね。

勝木先生：そうですね。楽しくなってきますね。

みやびさん：もう今、楽しいですよ。

白石：すでに。期待感ワクワクですね。

みやびさん：ワクワクです。

白石：ありがとうございます。

で、今回の動画はここまでになります。大分みなさん英語について本当に何が大事なのかっていうことが分かっていたんじゃないでしょうか。

みやびさんどうですか？



みやびさん：もっと英語って難しいイメージだったんですよ。でもなんか覚えることがこんなに少ないなんて思わなかったんで頑張りたいなって思いました。

白石：ありがとうございました。

みやびさん：ありがとうございました。

白石：では次回は、???を勉強しても意味がない。もう1つは???個の英語の文章を覚えれば完璧。について勝木先生に深く掘り下げて聞いていきたいと思います。

先生次回もよろしくお願いいたします。

勝木先生：よろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。